

埋設型枠

ダクトアルフォーム®

ダクトアルフォーム®は超高強度繊維補強コンクリート「ダクトアル」を用いて製造される高耐久の薄肉埋設型枠です。凍害や摩耗で補修を行う際にご使用頂けば、再劣化に対して高い耐久性を発揮します。

ダクトアルフォーム®の特長

1 耐久性

中性化、塩害、凍害および摩耗等の経年劣化に対して極めて高い特性を有しています。

2 強度特性

コンクリート打設時の側圧等の荷重に耐える十分な曲げ強度、剛性を有しています。

3 一体性

打設されたコンクリートと一体化し、鉄筋のかぶりとして考慮できるとともに、圧縮部材の有効断面として適用できます。

4 施工性

運搬、組み立てが容易で、必要に応じて加工が可能です。



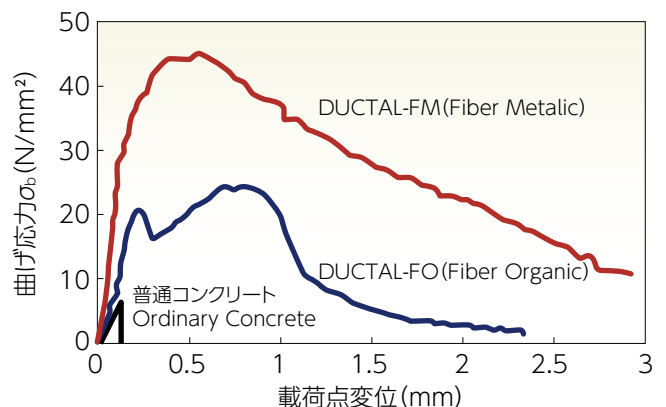
ダクトアルとは

ダクトアルは、通常のコンクリートとは大きく異なる密実な硬化体。力学的特性や耐久性などに極めて優れています。「超高強度繊維補強コンクリートの設計・施工指針(案)」(土木学会)では、その性能の高さから、設計耐用期間は100年(ダクトアルFM)を標準としていいと定義されています。

土木学会指針(案) 超高強度繊維補強コンクリート設計用値

項目	単位	設計値※
密度	g/cm ³	2.55
圧縮強度	N/mm ²	180
引張強度	N/mm ²	8.8
ひび割れ発生強度	N/mm ²	8
ヤング係数	kN/mm ²	50
ポアソン比	—	0.2
クリープ係数	—	0.3

曲げたわみ曲線の一例



建設技術審査証明



ダクトフォーム®の優れた性能が認められ、(財)土木研究センターにおいて建設技術審査証明を取得しています。



ダクトフォーム®の種類

呼び名	DF20	DF25	DF30	DF40	DF50	
有効厚(mm)	20	25	30	40	50	
付着層厚(mm)	3~10					
質量 (kg/m ²)	Kタイプ	52~56	64~69	76~82	100~108	124~134
	Pタイプ	51~67	64~79	76~92	101~117	126~142
	Cタイプ	51~70	64~83	76~95	101~120	126~145
幅×長さ(m)	設置箇所に合せて任意の形状のものが製造可能です。					

注)※ダクトフォーム®の全厚=付着層厚+有効厚

埋設型枠

ダクトフォーム®

製品概要

インフォメーション

NETIS登録製品

水路

雨水貯留

擁壁

埋設型枠

補強土工

テクスパン工法

電線類地中化製品

道路

ます

景観

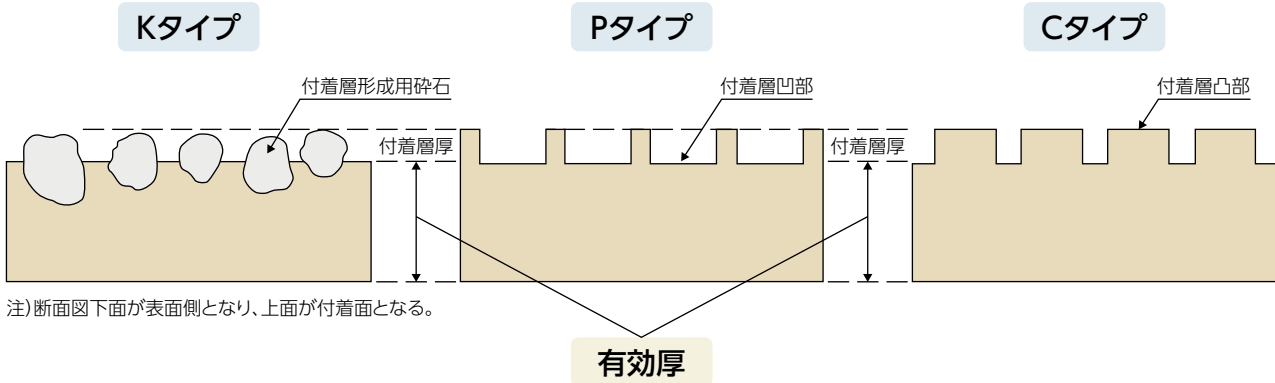
耐震性貯水槽

スポーツウォール

その他製品

会社案内

断面形状



注)断面図下面が表面側となり、上面が付着面となる。

かぶり

ダクトフォーム®は、土木学会「コンクリート標準示方書」に規定される品質の確認された保護層とみなされます。従ってダクトフォーム®を厳しい腐食性環境下において適用する場合においても、かぶり厚は下表の値とすることができます。

○最小かぶり厚(mm)

部材	最小値
スラブ	25
はり	30
柱	35

